

アカガシラカラスバトの概要

1. 種名

アカガシラカラスバト (学名 *Columba janthina nitens*) ハト目ハト科

2. カテゴリー

- ・環境省レッドデータブック (2002年) では、絶滅危惧 I B 類。

3. 生態等

- ・詳しい生態は不明部分もあるが、ガジュマル、シマホルトノキ、クワ類、センダン、ムニンシロダモなどの木の実を主な食物とする森林性の鳥。
- ・主な生息環境は、上記の樹木が多く生育している極相に近い暗い森林と考えられている。

4. 個体数の推移

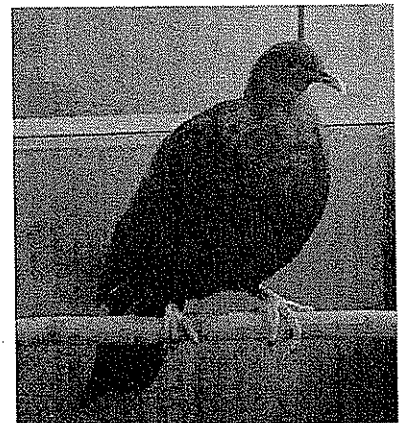
- ・小笠原諸島に留鳥として分布し、小笠原諸島全体で約 40 羽と推定。

5. 減少した要因

- ・過去に、開墾による森林の伐採、人間による捕獲により減少したと考えられる。
- ・島外から持ち込まれた動植物による、在来植生 (特に本種の餌となる植物) の破壊 (アカギの増殖による在来植生の後退・減少、ヤギによる在来植生の食害等)。
- ・クマネズミとの餌資源の競合。
- ・ノネコによる捕食被害が懸念。

6. 保護施策

- ・平成 5 年、種の保存法に基づく「国内希少野生動植物種」に指定。
- ・平成 5 年度より生態に関する調査生息地の巡視、餌となる植物の植林等の事業を林野庁が実施。
- ・平成 12 年度より、上野動物園が飼育下繁殖への取り組みを実施。平成 14 年 11 月に飼育下繁殖に初めて成功。平成 18 年 5 月現在 11 羽を飼育。
- ・平成 15 年、林野庁が父島に本種のサンクチュアリー (28ha) を設定し、アカギの防除、水場の整備、巡視等を実施。
- ・平成 16、17 年、NPO 法人小笠原自然文化研究所が繁殖状況調査を実施。
- ・平成 17 年、環境省、NPO 法人小笠原自然文化研究所等が協力して、本種の繁殖地付近でのノネコの排除を実施。



アカガシラカラスバト (成鳥)